



特定非営利活動法人神奈川セルプセンター

# 平成 26 年度 神奈川県障害者生産活動支援事業報告書

# I 障害者生産活動支援事業

## 事業目的

障害者が工賃のアップを通じて地域で生き生きと「その人らしく暮らす」とともに、障害者の地域生活を支える「いきがい」の場のひとつとなっている事業所が、生産活動を充実させ、支援力を高めることなどを目的として、全県域において、障害者自立支援法に規定する就労継続支援 B 型事業所等の工賃支払規定を有する事業所を対象に（以下「対象事業所」といいます）事業を実施しました。

## 事業報告

### 共同受注窓口組織推進事業

複数の事業所が共同して工賃を引き上げることを目的に、共同受注窓口組織（以下「はたらき隊かながわ」という。）を設置・運営し、対象事業所のうち、はたらき隊かながわに登録いただいた事業所（以下「登録事業所」という。）に対して受注の分配を行いました。

#### (1) 共同受注窓口事務局の設置と運営

- ・事務局の設置場所 神奈川県藤沢市湘南台 1-7-8 エスポワール 304 号室
- ・常勤事務局員 1 名
- ・営業日数 256 日

#### (2) 登録事業所数 / 243事業所

圏域別…横浜 78、川崎 42、相模原 12、横須賀・三浦 20、湘南東 27、湘南西 20、県央 32、県西 12

登録事業所の募集にあたっては、はたらき隊かながわWEBサイトへの掲載、福祉情報サービス神奈川を活用した周知、対象事業所へのメール配信、受注分配時の同時登録等により行いました。



### (3) 受注実績

企業や団体等からの受注案件に対する契約事務及び、登録事業所への受注分配・納品の取りまとめ業務を行いました。

●受注件数 165 件

●受注金額 19,323,251 円

(官公需)	9,814,607 円	50.8%
・神奈川県	5,092,898 円	26.4%
・国	3,589,157 円	18.6%
・独立行政法人	761,102 円	4.0%
・市町村	371,450 円	1.9%

(民需) 9,508,644 円 49.2%

●配分件数 延べ 210 事業所

○障害福祉圏域別 (延べ数)

横浜地区：44 事業所、川崎地区：33 事業所、相模原地区：17 事業所、  
横須賀・三浦地区：11 事業所、湘南東地区：88 事業所、湘南西地区：4 事業所、  
県央地区：9 事業所、県西地区：4 事業所

●契約主体

受注にかかる契約については、はたらき隊かながわ若しくは登録事業所により行いました。

今年度より、神奈川県からの調達については、はたらき隊かながわを受託運営する神奈川セルフセンターが地方自治法施行規則（昭和 22 年内務省令第 29 号）第 12 条の2の3第1項の規定に基づき、地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の2第1項第3号に規定する障害者支援施設等に準ずる者に認定されています。

### (4) はたらき隊かながわWEBサイトの運営

登録事業所の情報を取りまとめ、はたらき隊 WEB サイトにて企業、県民、行政機関などに向けて情報発信しました。併せて、障害者生産活動支援事業のイベント情報についてもお知らせしました。



## 成果・効果

はたらき隊かながわの運営にあたり、次の目標数値を設定しました。

項目	必達目標	努力目標
(1) 受注額	10,000,000 円	15,000,000 円
(2) 登録事業所数	200 事業所	250 事業所

本格始動より2年目を迎え、はたらき隊かながわの実績は、着実に数値的な伸びを見せており、年度当初に掲げた目標値についても受注金額は努力目標を超え、登録事業所数もその数値に近づきつつあります。

項目	登録事業所数	受注金額	延配分件数
平成 25 年度実績	182 事業所	4,008,261 円	69 事業所
平成 26 年度実績	243 事業所	19,323,251 円	210 事業所
増減	61 事業所	15,314,990 円	141 事業所

### (1) 地域連携

拠点施設（※1）を設置し、そこを中心に近隣事業所への受注分配が可能となったことで、短納期や大量受注に対応できる体制が地域毎に構築されつつあります。

### (2) 新規参入

外部清掃（除草）業務などの情報を受託場所近隣の登録事業所に周知することで、登録事業所が従来実績のなかった業務分野への参入を促すことができました。

### (3) 受注対応

登録事業所数や受注件数の増加に伴い、短期納入や大量受注への対応が可能になりつつあります。

### (4) 課題

はたらき隊かながわの設置により、一定の成果・効果を得ることができましたが、他方で改善の必要のある事項も抽出されています。

- ①品質管理 / 作業指示書を遵守した品質管理
- ②工程管理 / 納期を遵守するための工程管理
- ③拠点施設 / 障害福祉圏域単位の拠点施設設置
- ④書類作成 / 見積、請求など書類作成のスキル向上
- ⑤取引業者の流出 / 共同受注窓口組織が新たに開拓した業者であっても、業者と登録事業所が直接取引することにより、取引業者や受注実績の流出に繋がっている。

（※1）拠点施設：大口の受注に対して、発注元からの資材受け入れ、発注元への納品について取りまとめを行うハブ的機能を持つ施設・事業所をさします。また近隣施設・事業所への受注分配についても、拠点施設を通して行います。

平成24年度・25年度に障害福祉事業所の自主製品の質の向上や生産活動の付加価値を高める事を目的として開催しました「きらっと輝く製品コンテスト」に於いて、受賞された製品から特に好事例となる3事業所より好事例発表として報告を頂くセミナーを開催しました。

また、県内でご活躍されている経済団体の皆様方に、事例発表に対する講評等を頂き、今後の製品づくり・販売の参考となる良い機会となりました。

## チャレンジ製品開発・品質向上セミナー

【日 時】 平成 27 年 2 月 23 日（月）13：30 から 15：00

【会 場】 神奈川県庁本庁舎大会議場

【参加者】 141 名 内訳：受賞者 10 名、福祉事業所 43 ヶ所 109 名、事務局他 22 名

【内 容】

### 1. 受賞事業所好事例発表 （職員と利用者による発表）

#### (1) 大根工芸…秦野まどれーぬ「さくら」（第2回コンテスト食品部門優秀賞）



秦野まどれーぬさくらは、秦野の名産品（全国シェア1位）八重桜の塩漬けを活用した、地元秦野のPRにはもってこいの食材と、よるべ沼代で平飼いされた有精卵よるべの卵、無着色、国産の桜葉の塩漬けから作られたパウダーを使用しています。

卵の泡立ての他は、すべてハンドメイドで作っており、安全確保のためのオープン以外は利用者の手によって製造しています。自社の直営店の他、ともしびショップ、中井PAの売店などで販売しています。



#### (2) 共働舎…多肉植物鉢（第2回コンテスト非食品部門優秀賞）



共働舎では、花苗の生産、パンの製造、陶器の作製を行い販売しています。陶芸部門では、一つ一つ手作りをしているので、作家によって表面の具合や模様など風合いに違いがあります。出来上がった陶器は、使いやすさはもちろんのこと、選ぶ楽しさもあります。

受賞した多肉植物の寄植えは、陶器や花苗を別々に販売するのではなく、陶器に寄植えをすることで商品の価値を高めて販売できる効果があります。なお共働舎の陶器は、ファールニエンテ（イタリア語で「何もしない」）の店舗でも使用しています。



### (3) セルプきたかせ…しあわせの生キャラメル (第2回コンテスト食品部門最優秀賞)



セルプきたかせでは、開所当初よりベーカリーを中心に販売を行ってまいりましたが、販売先や納品先の増加により、現在の生産設備では製造量に限界があったため、更なる自主商品を検討した結果しあわせの生キャラメルが誕生しました。

しあわせの生キャラメルは、売れる商品は何か、利用者主体で作れるもの、等の目標を決めて約2年間度重なる失敗を経て商品化に至りました。

きらっと輝く製品コンテストにおいて評価頂いたことが、大きな自信と更なる努力につながっています。

これからもお客様の笑顔、みんなの笑顔のために「しあわせ」な商品を作っていきます。



## 2. コンテストと好事例発表への講評

- 【コメンテーター】
- ・ 神奈川県商工会議所連合会 事業課長 望月 敏久氏
  - ・ 神奈川県生活協同組合連合会 常務理事 青木 宇一氏
  - ・ けいしん神奈川 中小企業診断士 藤田 直哉氏

大根工芸は、地元名産を原材料に使用したハンドメイドの製品作りを心掛けており、「地産地消」の商品コンセプトに評価を得ました。

次に共働舎は事業所内に多種多様な作業部門があり、今回の受賞製品も農園芸部門と陶芸部門のコラボレーション製品であり、利用者の得意な部分を掛け合わせた製品作りの工夫と利用者の作業参加の面に於いて評価をいただきました。

セルプきたかせは、「オリジナル性」「利用者主体」を製品開発の軸とし、2年の歳月を経て製品化に至った経緯の中で、特に「福祉の製品だから買ってもらおうのではなく、商品の良さでお客様に喜んでもらう」という一般市場のニーズを対象とした製品開発の姿勢に高い評価を得ました。

また、共働舎と、セルプきたかせは、どちらも販売に特化した部門を設けており、その活動については一般参加者からも高い関心が寄せられていました。



民間企業から対象事業所への発注を促進することを目的に、対象事業所へ業務発注をした企業などに対して表彰を行いました。

【内容】 対象事業所から推薦された企業内から、選定委員の協議によって表彰企業を選定  
\* 推薦のあった 15 事業所から 10 事業所が決定

【選定委員】 在原理恵 神奈川県立保健福祉大学講師  
藤田直哉 公益社団法人けいしん神奈川相談役  
太田裕貴 神奈川県障害福祉課主事

【推薦期間】 平成 26 年 11 月 12 日から 11 月 19 日

【選考要件】 ・対象事業所へ過去 5 年間のうち、年間 100 万円以上の発注を 2 年以上していること。  
あるいは年間 50 万円以上の発注を 4 年以上実施していること。尚、複数の事業所への発注で上記要件を満たしていれば対象とする。  
・対象事業所からの推薦のあること。  
・労働関係法規を遵守していること。  
・公序良俗に反する事業を行っていないこと。

【選定委員会】 平成 27 年 1 月 29 日（水）14：00 から 16：30 神奈川県社会福祉会館

【表彰企業】 井上樹脂株式会社  
(順不同) 医療法人社団悠仁会ほほえみの郷横浜  
株式会社シバリネン  
都市環境サービス株式会社  
日本精密発条株式会社  
旭紙業株式会社  
アーバン・コーポレーション株式会社  
株式会社サン・ライフ  
株式会社富留屋古賀音庵  
有限会社岩手電機製作所



【表彰式】 日時 / 平成 27 年 2 月 23 日（月）13:10 ~ 13:30  
場所 / 神奈川県庁本庁舎大会議場  
参加者 / 141 名 \*受賞者 10 名、43 福祉事業所 109 名、事務局他 22 名



外部有識者からなる工賃アップ検討会を、下記の通り2回開催し、工賃向上に関する意見を聴取するとともに、障害者生産活動支援事業全体の公平かつ効果的な実施に努めました。

【検討会構成員】	在原理恵	県立保健福祉大学講師（学識者）
	藤田直哉	公益社団法人けいしん神奈川相談役（中小企業診断士）
	坂口 健	アガペ第2 作業所施設長（県身体障害施設協会）
	瀬戸利彦	しんわルネッサンス施設長（県知的障害施設団体連合会）
	菅沼久則	（社福）秦野なでしこ会理事長（県精神障害者連絡協議会）

#### 【検討会の開催】

##### ○第1回検討会

日 時 平成26年7月24日 18:00 から

会 場 神奈川県社会福祉会館会議室

##### ○第2回検討会

日 時 平成27年3月25日 18:00 から

会 場 神奈川県社会福祉会館会議室





## Ⅱ 協働モデル事業

### 事業目的

「かながわ工賃アップ推進プラン」に基づき、企業、NPO、経済団体、農業団体、消費生活団体等の障害福祉分野以外の団体（以下「協働団体」という。）と協働したイベントを開催し、協働化のモデルを提示することにより、障害者の生産活動の幅を広げて、社会参加の促進や労働意欲を高めるとともに、工賃向上に資することを目的として、対象事業所を対象に事業を実施しました。

### 事業報告

## ふれジョブパネル展示会と記念の集い

神奈川で行われている「ふれジョブ」の活動を紹介するパネル展を行いました。

ふれジョブとは、小学5年生から高校3年生までの障害のある児童・生徒が、地域で行う就労体験のことです。

「ふれジョブ」が障害のある子どもや保護者にとって、貴重な就労体験であるだけでなく、地域の人たちが障害について理解を深め、障害のある子どもをみんなで支えていく様子や仕組みを周知いたしました。

また、記念の集いでは、ふれジョブを経験した子どもたちの紹介や、ふれジョブ藤沢代表の浅野史郎氏の講演会を行いました。

パネルだけでは伝えられないふれジョブの内容や秘話、また地域の社会力を高めるために必要なこと等をお話いただきました。

- 
- 【日程】 平成26年12月9日（火）～12月11日（木）
- 【場所】 神奈川県民センター1階展示場
- 【テーマ】 ふれジョブ ～小学生からの仕事体験～という試みから見えるもの  
「障がい者が働く現場は今」
- 【協働団体】 ふれジョブ藤沢、ふれジョブちがさき・寒川、トレッサ横浜  
○ふれジョブは障害のある子どもの貴重な就労体験の場だけにとどまらず、地域で障害のある人を支える活動なので、この取り組みが神奈川県内に広がることで、障害のある人たちの社会参加と工賃向上に資することから、協働団体に選定しました。
- 【来場者】 概ね400名
- 【実施内容】 (1) ふれジョブパネル展示会  
(2) 記念の集い  
○日時 12月9日（火）16:00から17:00  
○内容 ・ふれジョブ藤沢およびふれジョブを体験した子どもたちの紹介等  
・講演「地域の福祉力」 ふれジョブ藤沢代表 浅野史郎氏

# 1. パネル展示会

展示した 34 枚のパネルには、藤沢市内を中心とした飲食店、ハンバーガーショップ等で就労体験をしている活動写真や、障害のある子ども本人の感想や保護者のコメント、体験を受け入れている企業担当者のコメントが載っており、来場された方々は一枚一枚熱心にご覧になっていました。



# 2. 記念の集い

主催者を代表して神奈川県保健福祉局福祉部の中元障害福祉課長の挨拶により、記念の集いが開始されました。

ぷれジョブ藤沢事務局長 内海智子さんより、2年前にぷれジョブ藤沢を神奈川県内で初めてスタートさせ、現在では 15 企業、20 事例が実現したとの報告がありました。続いてぷれジョブについて、企業へジョブプレイヤー（障害のある子ども）が 1 週間に 1 時間出向いてお仕事体験し、6 ヶ月間で終了する。そして、次のタームに移ること、ジョブプレイヤーが企業へ向う時には、ジョブサポーター（地域のボランティア）が同行することについて説明されました。



中元障害福祉課長

ジョブプレイヤーへのインタビューでは、印刷会社でのシュレッダー業務やハンバーガーショップ、ラーメン店、行政機関での活動について伺うことができました。

「ぷれジョブが多くの企業に体験を受け入れてもらえるように、その輪を広げていきたい。必ず子どもたちにも企業にもプラスになりますから。」との言葉は印象的でした。



ぷれジョブ藤沢事務局長内海智子さん



ジョブプレイヤーへのインタビュー



受入事業所の方からのお話し

### 3. 講演「地域の福祉力」 ぷれジョブ藤沢代表 浅野 史郎氏



元宮城県知事、神奈川大学特別招聘教授でありぷれジョブ藤沢代表の浅野 史郎氏より「地域の福祉力」について、ぷれジョブ藤沢の活動をとおした講演をいただきました。

浅野氏は、ぷれジョブの活動については、地域の非専門家を半専門家にすると言います。1週間に1日1時間を6ヶ月間継続する。このハードルの低さと効果の高さが魅力であり、障がいのある人が街に慣れ、街

が障がいのある人に慣れる。ぷれジョブによって、地域のネットワークが生まれることに意義があるといえます。

浅野氏から来場者へのインタビューもあり、短い講演時間でしたが大変有意義なものとなりました。



### 事業報告 経営相談事業

対象事業所で行う生産活動の売上向上など、日頃より困っていること疑問に思っている事などについて、相談に応じました。

【日時】 平成26年12月9日(火)～12月10日(水)

【場所】 神奈川県民センター1階展示場 特設コーナー

【協働団体】 公益社団法人けいしん神奈川 藤田 直哉 氏  
○神奈川県で行う工賃向上にかかる事業に参画し、施設・事業所の実施する生産活動への理解と知識を有しており、障害者の社会参加と工賃向上に資することから、協働団体に選定しました。

【実施内容】 1事業所につき、30分間経営相談を実施しました。

【来談者】 6事業所

○はたらき隊かながわの登録事業所に向けて募集しました。



	12月9日(火)	12月10日(水)
13:00～14:00	糸ぐるま	社会就労センターしらね
14:15～15:15	就労継続支援B型事業所ジャンプ	ワークショップフレンド
15:30～16:30	亀茶房	藤沢ひまわり

対象事業所で行う生産活動の売上向上など、日頃より困っていること疑問に思っている事などについて、相談に応じました。

- 【参加事業所数】 延べ 11 事業所
- 【売上金額】 141,260 円
- 【商品・サービス】 (食品) 焼き菓子類、パン、豆腐、コーヒー豆など  
(非食品) 祝い割り箸セット、絵葉書、ビーズ製品、デコパージュ石鹸など  
(サービス) あんま指圧マッサージ



販売会同様、パネル展示会期間中、就労継続支援事業所で行っている水道メーターの解体作業のデモンストレーション及び、どなたでも参加可能な作業体験を実施しました。

- 【協力】 神奈川県企業庁  
ハートピア湘南
- 【体験者数】 30 名程度



先進的な事例よりも「身近で取り組みそう」という点に的を絞り、来場者の気づきや視点提供をしながら、商品の付加価値向上のヒントなどセミナーをとおして全国の事例を紹介しました。

【日時】 平成27年2月23日（月）15:10～16:55

【会場】 神奈川県庁本庁舎大会議場

【内容】 事業所の工賃向上について～changeプログラム～

【参加者】 131名 内訳：福祉事業所43ヶ所109名、事務局他22名

【協働団体】 株式会社インサイト 代表取締役 関原 深 氏

○株式会社インサイトについては、企業の行う障害者雇用や事業所・施設工賃向上にかかる事業に参画し、施設・事業所の実施する生産活動にかかるコンサルティングの実績を多数有しており、障害者の社会参加と工賃向上に資することから、協働団体に選定しました。

## 事業所の工賃向上について ～changeプログラム～



株式会社インサイトの関原氏は、創業当初より全国の障害福祉事業所へのコンサルティングを実施しているとのことで、セミナーの

参加をとおして参加者が事業所・施設に戻った後に何らかのアクションを起こせるようにとのメッセージからはじまりました。

関原氏は、日頃より事業所・施設の現場で働いていると工賃よりも支援が大事との想いが生じてしまうが、企画と支援を分けて整理する必要があるという。

例えば、同じ商品を生産する時に、単価が上がれば本人の生産力が同じでも工賃は上がる。この企画力の差で付加価値に違いが生じること。また本人の生産力を向上しようと思った時、そこには必ず個別支援計画が必要である。つまり、個別支援計画と工賃向上計画との連動が必

要であり、本人の参画なくして、工賃向上の意味はないとのことでした。

事例では、マーケティング戦術の活用、未利用資源の活用、流行・用途・サイズ等の商品改良、その道のプロに教えてもらう、請負の切替・価格交渉など高付加価値を採ることについて紹介されました。

Changeプログラムについては、何らかの行動を起こして変化を生み出すため、現状把握、シナリオ策定、計画化、実施、確認・修正の5つのステップを6ヶ月のタームで行うことについて、説明がありました。

全国の成功事例について、誰かができることを実行した結果、流れが好転してついてきているとのことでした。

最後に、実際の現場ではもどかしい事も沢山あるが、気持ちを抑えて、プロの目にならず、自分たちの限界を線引きすることなく励んでほしいとの言葉がありました。

## 参考資料

### チャレンジ！製品開発・品質向上セミナー 受賞事業所好事例発表

#### ○地域精神保健福祉会 大根工芸

自主製品名称	秦野まどれーぬ「さくら」		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和のイメージを持つ桜を洋風のお菓子に作り上げ、ひらがなで「まどれーぬ さくら」とネーミング</li> <li>・秦野名産の八重桜の塩漬けをトッピングに使用し、見た目に美しく話題性があり、生地には桜パウダーを混ぜ込み、桜独特の味、香りを楽しんでもらえる一品</li> <li>・華やかさ、かわいさと安価な価格設定が共存 など</li> </ul>		
製造地	秦野市南矢名 2041-5		
作業所名	大根工芸 菓子工房「香音」		
主な原材料	原材料	生産地	
	よるべの卵（有精卵）	小田原	100%
	小麦粉	日清製粉バイオレット	100%
	無塩マーガリン	雪印	100%
	砂糖	伊藤忠商事など	100%
販売可能時期	通年		
価格	120 円		
内容量	1 個 約 50 ～ 53 g		
賞味期限等	15（品質保持剤としてアルベール		
保存方法	常温（直射日光や高温・多湿を避けて保存してください）		

#### 【製品の特長】

##### 1. 全国シェア 1 位（70 ～ 80％）秦野の名産品「八重桜の塩漬け」を使用

食材としては、特徴があり、地元秦野の PR にはもってこいの食材である。また、エディブルフラワー（食べられるお花）として桜は、日本のイメージを強く反映し、人気な商品になると推察される。そして、地域の作業所として、秦野の名産品を紹介し、地域の活性化に貢献したい。

##### 2. ストレスのない健康な平飼有精卵「よるべの卵」を 100％使用

小田原の沼代よるべの鶏は、狭いケージではなく、自由に動き回り、ストレスなく、健康的に過ごしている為、比較的美味しいはず。産卵時も、自然に自由に産める環境にあり、産みたての卵を採卵しています。エサもトウモロコシを主体に、米ぬか、麦ぬか、おから、魚粉などをブレンドしたもので、抗生物質や色素などを入れない肥料です。見栄えを良くするため黄色が生えるよう色素を入れるのが一般的ですが、よるべの卵は、こだわりのエサで、色素さえも入っていないので、黄身は薄い黄色で、白身はしっかりしています。そのおかげで、一般の卵とは泡立ちが違います。素早く、ふんわり、きめ細やかでクリーミーな泡立ちが特徴です。

### 3. 桜葉パウダーを使用

一般的には、化学合成の桜エッセンスを使用する 경우가多く、ほんのりピンクの色づけになる。私たちは、無着色、国産の桜葉の塩漬けから作られたパウダーを使用している。そのため、ピンクではなく自然食の緑色と桜葉の持つ特徴的な風味とほんのり塩味が、マドレーヌの味を引き立てている。

### 4. ハンドメイドの温かさ

卵の泡立ては、スタンドミキサーを使用しているが、その他は全てハンドメイド。手間のかかる桜の花びらを試行錯誤でほんのちょっとだけ塩味が残るかげんに時間を調整して塩出しし、くしゃくしゃになるがちな花びらを1つ1つ丁寧に開きトッピング。粉を合わせるのも生地が固くなるがちなスタンドミキサーに頼らず、しっかりふんわり泡立てた卵を手作業で技術を習得したテクニシャン達が粉と合わせるので、ふんわり、しっとり仕上がります。

規格がバラつかないように1個ずつ計量してから焼き上げます。こちらもオートメーションではなく、焼き上がりが均一になるよう時間を調整して焼き上げています。

#### 【販売方法】

自社の直営販売として売店「香音」をはじめ、弘法の里湯売店「やまなみ」、大根公園売店、保健福祉センター内ともしびショップ「ま木」、ともしびショップ「ゆめ散歩」、自然食の店ガイア、仲居PA上下線売店の各店におろし、販売してもらっているほか、秦野市の各種イベント（福祉センターフェスティバル、大根ふれあい祭り、鶴巻ふれあい祭り、福祉展、東海大学飛鷗祭、弘済学園さくら祭りなど）に出店し、製品の販売努力を行っている。

#### 【利用者の参加と製造工程】

安全のため、オープン以外は、ほぼメンバーによって行われる。  
(1回の製造につき、3人で行った方が最も効率が良い)

## ○共働舎



## 共働舎・はたらき本舗



共働舎・はたらき本舗は主に知的な障がいのある人たちが集まり暮らす場です。から毎日通ってきて、仕事をする場所です。  
花苗の生産、パンの製造、陶器の作製を行い、できたものを販売するということを行っています。

共働舎は花苗の生産をする園芸部門、食器や花鉢を作成する陶芸部門、国産小麦を使用してパンを焼くパン部門、それらのできたものを販売する販売部門の4部門からなっています。はたらき本舗は女神のクッキーを中心とした焼き菓子生産を中心に行っています。



## 農園芸部門

- 園芸部門は300坪の温室で年間約4万鉢の花苗を生産、無農薬野菜や自家製小麦を育てる畑、花をプランターに植え込んで貸し出しをするリースの作業を中心に行っています。
- 共働舎の部門の中で一番人数の多い部門です。



- 共働舎では、2007年より自家製小麦の生産を始めています。11月に種をまき、6月に小麦を収穫します。
- できた小麦は共働舎内にあるオーストリア製の石臼製粉機で製粉をし小麦粉にします。
- 小麦粉は共働舎内のパン工房や横浜市内のパン屋さんに送り、パンや焼き菓子として使っています。



## パン部門

- パン部門は自家生産、自家製粉小麦と国産小麦を使用したパンを毎日約50種類焼いています。特にお勤めはクロワッサン。バターの香りとサクサク感はプロも認める美味しさ。
- 長年パン製造を行っているスタッフが多いのでくもくとおいしいパンを作り続ける職人たちが多い部門です。



## 陶芸部門

- 陶芸部門は、一つ一つ手作りをしています。すべて同じ形のように見えますが、作家によって表面の具合や模様、一個一個に違う風合が出ています。共働舎の陶器は使いやすいのももちろん「選ぶ」という楽しさもあります。
- 個性豊かな作家たちが選ぶのも使うのも楽しい陶器を作っている部門です。





## 販売部門

- 販売部門は自分たちでは作り出すということはありません。他の部門が作ったものの販売と喫茶を行っています。
- 共働舎の「顔」としてお客様を気持ちよく迎えることをしている部門です。
- お客さんへの挨拶、コーヒーなどの飲物出し、楽しいおもてなしを目指しています。



## はたらき本舗

- はたらき本舗は、共働舎・はたらき本舗の新たな商品の女神のクッキーを作る工場として、毎日4種類のクッキーを焼いています。共働舎からはちょっと離れた場所ですがクッキー製造のプロたちが、美味しいクッキーを皆様にお届けできるよう、働いています。
- 自分たちで作った小麦の香りを十分に楽しめるクッキーのラインナップとなっています。ぜひご賞味ください。



## 作成風景



## 多肉植物の寄植え作成中



## こんな所で使われています



## 社会福祉法人 長尾福祉会 セルプきたかせ

### 「第2回 きらっと輝く製品コンテスト」

しあわせの生キャラメルで食品部門最優秀賞受賞

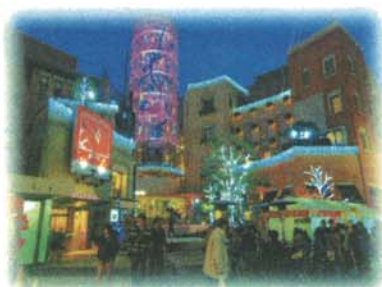


#### 【営業販売班の紹介】

自主製品の営業活動、販売活動を専門に行うグループです。開所当時からカフェの営業はしていましたが、「待っているだけでは、商品を知ってもらえない」「もっとたくさんの人にセルプきたかせの商品を知ってもらいたい」という思いから、さらなる売り上げアップを目指し、開所2年目からスタートしました。

様々な施設や企業への売り込みや営業を行い、販売場所や納品場所を徐々に拡大して行きました。川崎市の商工会議所への登録も行い、川崎市内の様々なイベントにも一年を通して参加することができています。

土日のイベント販売にも積極的に出店し、区民祭などの地域のおまつりや、商工会議所主催のBUYかわさきフェスティバル（JR南武線駅の改札前や川崎駅地下街など）での販売を行っています。年間を通して、30カ所以上のイベントに出店しています。



## 【「しあわせの生キャラメル」の誕生秘話】

事業所がスタートした時から、売上げの柱として、ベーカリー商品を中心に販売を行ってききましたが、販売先、納品先が増え、1日に作れるパンの製造量も設備等で限界がありました。そこで、ベーカリーに次ぐさらなる自主製品をと考え始めました。

「売れる商品は何か」「他の福祉施設が作っていないようなもの」「利用者さん主体で作れるもの」などなどの目標を決めて、様々な商品を試作しました。そこで、生キャラメルの製造工程（材料を火にかけ続けるというもの）に注目し、製品化を試みました。

度重なる失敗を経て、約2年間を費やし、商品化にいたりました。食べると思わず笑顔になり、「しあわせ」な気持ちになる味だったので、「しあわせの生キャラメル」というネーミングにしました。「第2回きらっと輝く製品コンテスト」において評価を頂いたことが、大きな自信とさらなる努力へとつながっています。

## 【販売場所拡大・製品作りで大切にしていること】

- ☆ 考えてばかりいないで、とりあえず行動してみる！  
→悩んで、色々な意見を出し合うのはとても大切ですが、先に進むには、行動に移すことが、大切だと思います。
  
- ☆ 「出来ない」と言わない  
→「出来ない」「無理」ではなく、「出来るようにするにはどうすればいいか」を考えます。
  
- ☆ “福祉の製品”だから買ってもらうのではなく、商品の良さでお客様に喜んでもらう  
→「福祉製品で、みんながんばって作ってるから」買ってもらうのではなく、「おいしいから」「また食べたいから」「友達にも教えてあげたい」と買ってもらえるような商品を作っていく。
  
- ☆ 利用者さんが主体となって取り組めること  
→利用者さんが取り組みやすい環境を整え、職員が中心で作るのではなく、利用者さんたちの可能性や、得意とする部分を発揮して頂けるようにする。

これからも、製品を作ることの楽しさや、働くことの楽しさを利用者さんたちに感じてもらえるよう、日々努力を続けて行きたいと思います。

お客様の笑顔、みんなの笑顔のために「しあわせ」な製品を作っていきます。

## Connect

- "多様性"の現場から

2014年12月16日 (火)

## 【変わる障害者雇用】第5回 就労体験を支える地域の緩やかなネットワーク～ぶれジョブパネル展示会～

投稿者: web担当 | カテゴリ: Connect - "多様性"の現場から  
| コメント(0)

WebライターのKです。

今回は「子どもたちの就労体験」がテーマです。12月9日～11日、横浜駅に近い神奈川県民センターで行われた「ぶれジョブパネル展示会」（主催：神奈川県）のオープニング・イベントに行ってきました。

## 地域に溶け込むための就労体験



「ぶれジョブ」とは、小学5年生から高校3年生までの障害のある児童・生徒が地域で行う就労体験のことです。2003年、岡山県倉敷市

の中学校区の課外活動から始まり、全国規模の連絡協議会が発足し、現在16府県に活動の輪が広がっています。

「ぶれジョブ」の仕組みはきわめてシンプル。障害のある生徒などが地元の会社で、週に1日1時間の就労体験を6か月間続けます。そして、一つの会社が終了すると、また別の会社で同じことを繰り返します。その間、ジョブサポーターと呼ばれる地域のボランティアが子どもたちに寄り添いをするというものです。

写真は「ぶれジョブ」を経験した子どもたち。特別支援学校などに通う生徒たちで、「シュレッダーで書類を細切りにするのが楽しかった」と話しました。マイクを握っているのは、今回の展示会を企画した「ぶれジョブ藤沢」の事務局長をしている内海智子さんです。



「ぶれジョブ」は障害のある子どもたちにとって、貴重な就労体験となるだけではなく、障害のある子どもが地元で溶け込むことで、彼らを支

える住民の緩やかなネットワークが生まれることに意義があると言います。

障害のある子どもは、学校時代は家庭と特別支援学校との往復、卒業後は特例子会社や作業所などとの往復だけで、地域との接点を作るのが難しい事情があります。地域の人にとってなじみのあるハンバーガーショップやコンビニなどで、住民が地元の障害のある子どもたちと顔見知りになることで、両者に交流が生まれ、「心のバリアフリー」が促進される効果があります。

写真：オープニング・イベントの会場には、地元の受け入れ企業やボランティアのジョブサポーターが集まりました。

## ハードルの低さと効果の大きさが魅力



今回の展示会を企画した「ぶれジョブ藤沢」の代表は、元宮城県知事で神奈川大学教授の浅野史郎さん。浅野さんは、「ぶれジョブ」の意義を「地域の非専門

家（アマチュア）を半専門家（セミプロ）にすること」と一言で表現しました。福祉の専門家を組織したり、行政の制度を利用する活動は、どうしてもハードルが高くなります。ところが、1週間に1日1時間だけという「ぶれジョブ」の活動は、受け入れ企業にも、ボランティア住民にも負担は少なく、費用も発生しません。そして、6か月間ジョブパートナーを務めた住民は、障害のある子どもたちへの理解を深めてくれます。そのハードルの低さと効果の大きさが「ぶれジョブ」の魅力だと言います。

浅野史郎さんは、慶應義塾大学の藤沢キャンパスで教員をしていたときに、全国ぷれジョブ連絡協議会の代表世話人の西幸代さんから声をかけられ、その趣旨に賛同し、それ以来、藤沢地区の代表を務めています。障害者福祉をライフワークにしながらも、行政の中核での仕事が多かった浅野さんにとって、「ぷれジョブ」のような現場の仕事は新鮮さを感じるそうです。現在の課題は、ジョブパートナーが不足していること。会場の参加者にぜひ手を上げてほしいと、訴えていました。

### ボランティアの報酬は子どもたちの笑顔



展示会に来ていた唐松初男さん（66）は、コミュニティ紙に掲載されていた「ぷれジョブ藤沢」の記事を見て、ジョブパートナーに応

募しました。そして、知的障害のある子どものマリンスポーツ会社での就労体験に寄り添いました。唐松さんは、以前にも知的障害のある子どもたちの活動を支援するボランティアを経験していますが、「ぷれジョブ」の活動には、その時以上にやりがいを感じたと言います。

「6か月間ひとりのお子さんとは付き合うと自然と親しくなれますし、何よりその子が成長していく姿を見ることが出来ます。これは貴重な体験でした。ボランティアですから、もちろん報酬はありませんが、強いて言うなら、その子の忘れられない笑顔が報酬ですね」

写真：藤沢市内の印刷会社、ハンバーガショップ、コンビニ、飲食店、販売会社など15の事業所が受け入れ企業になり、活動の様子がパネルで展示されました

いま障害者雇用の現場では、福祉の専門家や人事担当者による支援だけでなく、「ナチュラル・サポート」と呼ばれる一般社員の日々の支え合いにも力が入られています。同じように地域においても、一般住民の緩やかな支援のネットワークに期待が集まります。現在障害者に限らず、高齢者や貧困者など地域の支え合いを必要とする人は増え続けています。行政と専門家だけでは、福祉を支えるのは難しい時代になっているのではないのでしょうか。

事業所の工賃向上について  
～Changeプログラム～



株式会社インサイト 事業内容

- 創業8年目
- 障害福祉分野で9割以上

【事業内容】

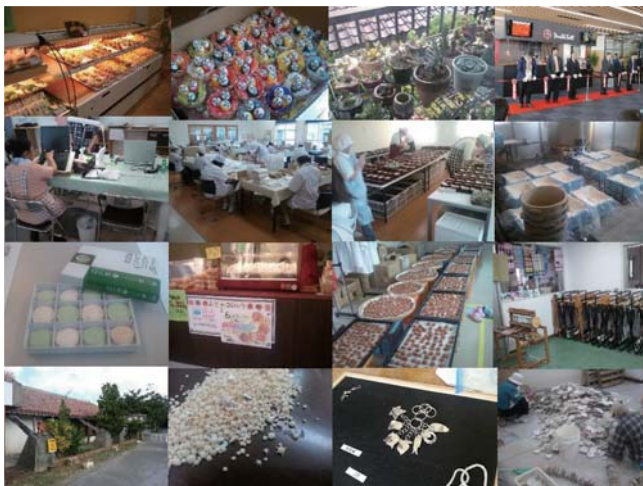
事業内容	事業概要	主要取引先
障害者雇用 コンサルティング	企業の障害者雇用に対するコンサルティング	民間企業
障害福祉経営 コンサルティング	障害福祉経営、および 日中活動マーケティング に対するコンサルティング	障害福祉事業所 (都道府県庁等)
調査研究・政策提言	障害福祉に関する調査 研究、および政策提言	官公庁 (厚生労働省、日本財 団等)

- ほか、社会起業家支援、ソーシャルビジネス支援等
- 講師：日本マーケティング協会、立命館大学等



Copyright Insight Co., LTD. All Rights Reserved

2



講演をはじめるにあたって…

● このような形で進めさせて頂いて宜しいでしょうか？

1. 携帯電話禁止です。電源Offをお願いします。
  2. 会場内は禁煙です。
  3. 今回のお話は、もちろん、
    - 全てのご本人・事業所に当てはまるものではありません。  
(重度/軽度、知的/精神、自主/請負事業、食品/雑貨/飲食等)
    - 全ての事例を知っているわけでもありません。
    - 言っていることが全て正解ではありません。
 とはいえ、「うちは違うわ」「うちはもっと大変なのよ」と仰りたい気持ちを少し抑えて頂き、「**気づきから学びを得る**」姿勢で話を聞いて頂きたいです。
- 「どうしてもおかしい」と思われる方は、講演後に、是非その  
お考えや現場のことをお教え下さい。



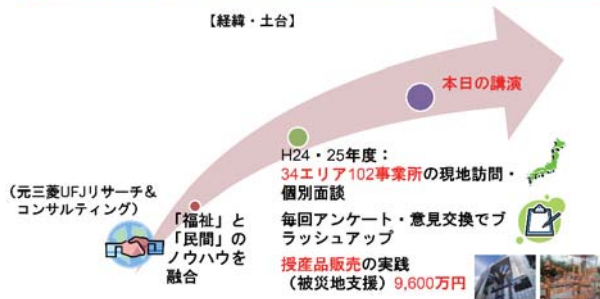
Copyright Insight Co., LTD. All Rights Reserved

1

弊社の成り立ち

- 創業当初より全国の障害福祉事業所へのコンサルティングを実施
- 直近2年間で全国34エリア102法人を対象にコンサルティング型研修を実施

【経緯・土台】



Copyright Insight Co., LTD. All Rights Reserved

3

本日のお話

- Goal :  
→皆様に何らかのアクションを起こして頂けるように
- 内容 :
  1. 視点提供
  2. 事例紹介
  3. Changeプログラム



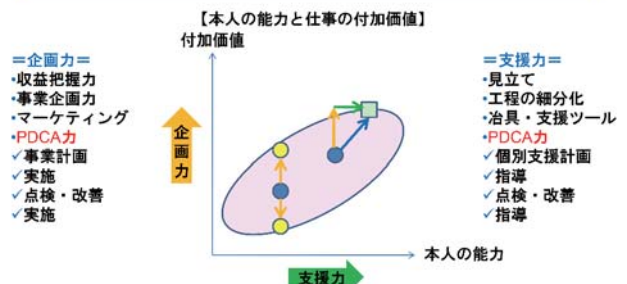
Copyright Insight Co., LTD. All Rights Reserved

5

視点その3：工賃も大事だけど、支援が大事だ！

- 「企画」と「支援」を分けて整理する
- 本人の能力が全く同じでも付加価値に違いがでる＝「企画力」の差

1. 視点提供



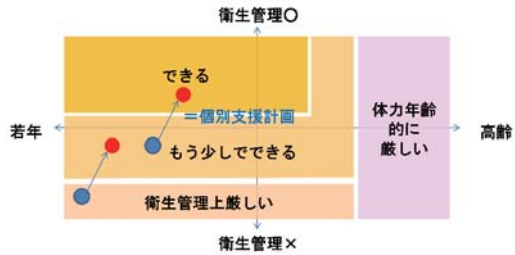
Copyright Insight Co., LTD. All Rights Reserved

7

例) 生産性向上を目指し個別支援計画と連動させる

- 能力・年齢等によって、ご本人をセグメント
- その仕事ができるようになるためには? = 個別支援計画

【セグメント例：食品加工の場合】



視点その4：工賃向上計画と個別支援計画

- 個別支援計画と工賃向上計画の連動が必要
  - 本人の参画なくして、工賃向上の意味はなし！
    - ✓ 数字だけなら、訓練等給付 (or 介護給付) を使わず、普通に商売を
    - ✓ 質の高い支援が土台で、その上で工賃向上に取り組む



質問：  
「納期」と「支援」、  
どちらが大切ですか？  
① 絶対に納期  
② やや納期  
③ やや支援  
④ 絶対に支援

## 2. 事例紹介

工賃向上成功事例から抽出した5つのヒント

- ① STP×4P  
→理想的な顧客ターゲット×一貫性のある戦略
- ② 原価構造改革  
→未利用資源の活用
- ③ 商品改良  
→流行についていく、用途・サイズ・価格を変える
- ④ 新規事業立上  
→プロに教わる
- ⑤ 請負切替  
→丁寧＝高付加価値を探す、先方に相談してみる

【ご参考】マーケティング戦術 (4P)

- 4Pは「掛け算」 = 1つでも「0点」だと、結果は「0点」

P<sub>Product</sub> × P<sub>Price</sub> × P<sub>Place</sub> × P<sub>Promotion</sub>

無添加天然酵母食パン × 80円 × 店頭 × ロコミ

北海道産高級マスクメロン × 10,500円 × コンビニ棚にゴロゴロと × 折込チラシ

顧客から見て、4Pすべてに整合性が取れている → 「購入」する

商売の「要諦」

- ③粗利益額を高くすることが必須  
そのための手段として…
  - A. 原価率を下げる
  - B. 売上を上げる (個数を増やす、単価を上げる)



## 3. Changeプログラム

Changeプログラムとは？

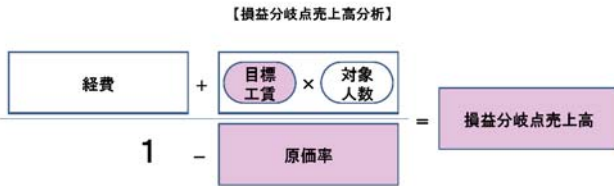
- 何らかの「行動」を起こして「変化」を生み出すための5つのステップ  
⇒至ってシンプルなPDCAサイクル
- 取り組んで頂いた事業所様のほとんどで、何かしらの「変化」が生じている
- ポイントは「非日常時間の確保」=プロジェクト形式が望ましい

【Changeプログラム】



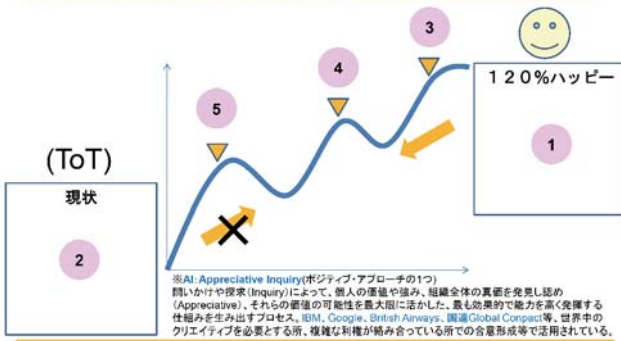
### ①現状把握：数字からのアプローチ

- 目標数値の最適化を図る
  - ① 目標工賃 × 対象人数
  - ② 目標売上
  - ③ 目標原価率



### ②AIを用いた成功するシナリオ作成（理想と課題の設定）

- 120%ハッピーな状態からやるべきことを考える



### Changeプログラム成功例①

- シナリオを描いて、行動計画に落とし込んだら、3年間で計画していたことが、半年以内に達成できてしまった（広島）



- 50食×週3回、週替わり弁当（約20万円：16,000円/人）
- 50食×週3回、日替わり弁当 → 日替わりにしたことによりブレイク
- 100食×週5回、日替わり弁当（約80万円：60,000円/人）

- テスト販売を実施したことで、顧客ニーズがはっきり分かった（週替わり弁当 → 日替わり弁当）

### Changeプログラム成功例③

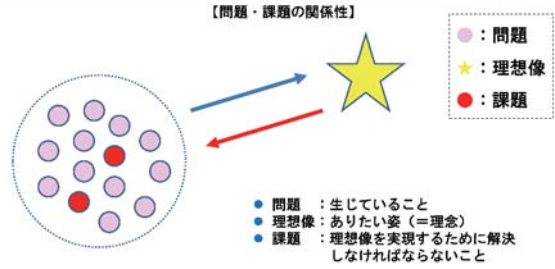
- 生活介護で下請けを実施していたが、単価が低い業務の見直しを図り、実際に電話したことで、新しい業務請負に繋がった（大阪）



- 利用者インタビューを実施した後に…
- 今までのつながり等、色々なながりがあると思っていたが、意外とすんなり進んでびっくりしている。

### ②シナリオ作成：問題・理想像・課題

- 「問題」をつぶすのではなく「課題」を解決する
- 課題を設定するには、理想像（参照するもの）が必要



### ③計画化

- 理想的なシナリオを実現するために、戦略書・計画書に落とし込み、参加メンバーで共有する…これを作らないと「動かない」

【戦略書】

項目	内容
1. 背景	...
2. 目的	...
3. 戦略	...
4. 実行計画	...
5. 評価	...

【行動計画】

項目	内容
1. 目標	...
2. 計画	...
3. 実行	...
4. 評価	...

### Changeプログラム成功例②

- 正確な数値を把握するために、棚卸とロス管理を毎月実施するようになっただけで、原価率が70%→40%弱に下がった（北海道）



- 棚卸（経営管理）に本人が関わられるように工夫
- 正確な数値が把握できるようになる→仕入量・ロス管理が徹底できる

### まとめに変えて①

- 全国の工賃向上成功例に共通することは何か？

- 誰かが、できることを「実行」した → 「流れ」が好転してついて来る

- 異常とは、同じことをやり続けて違う結果を期待することである（ジェームス・スキナー）
- 自分のやることはどうせ取るに足りない。しかし、それを実際にやるということが大切なのである（ムハマド・ガンジー）







## 特定非営利活動法人神奈川セルプセンター

〒252-0804 神奈川県藤沢市湘南台1丁目7-8 エスポワール304

TEL 0466-53-7802 FAX 0466-53-7803 kyodo@kyodo-juchu.com <http://www.kyodo-juchu.com>

発行日 平成27年3月